

# 【解禁】Gemini × NotebookLMの衝撃

「化け物」と「可能性の獣」が融合して何が変わるのでか？徹底解説

Based on insights from Kousuke-sensei's Google Juku

# 夢の共演が、ついに全ユーザーへ。

## 対象ユーザー

Google Workspace（企業版）および  
個人用Googleアカウント

## 変更点

これまで独立していたNotebookLMが、  
Geminiのインターフェースから直接  
呼び出し可能に。

## インパクト

Google最強の2大AIサービス——  
「二つの巨塔」が正式に手を組んだ瞬  
間。



# 相反する強みを持つ「2体の巨神」



## Gemini (化け物)

Noto Serif JP Regular

### 強み (Strengths)

- ・高度な推論・エージェント機能
- ・マルチモーダルな創造性（画像・コード生成）

### 弱点 (Weakness)

- ・ハルシネーション（事実の捏造）のリスク
- ・ファイルアップロード数の制限（最大10ファイル）

THE CREATIVE ENGINE



## NotebookLM (可能性の獣)

Noto Serif JP Regular

### 強み (Strengths)

- ・ソースに基づく圧倒的な正確性 (Grounding)
- ・大量データの処理（最大50ソース/ノート）

### 弱点 (Weakness)

- ・出力はテキストのみ
- ・視覚的なドキュメント作成は不可
- ・ノートブック間のサイロ化

THE GROUNDED BRAIN

統合により、互いの弱点を完全にカバーする。

# 統合がもたらす3つの革新的メリット

## 01

### アウトプットの進化

「テキストの壁」からの脱却。GeminiのCanvas機能を使い、視覚的に整理された成果物を生成する。



## 02

### 情報のサイロ破壊

「人事」「IT」「営業」など、分断された複数のノートブックを同時に横断検索し、社内ナレッジを統合する。



## 03

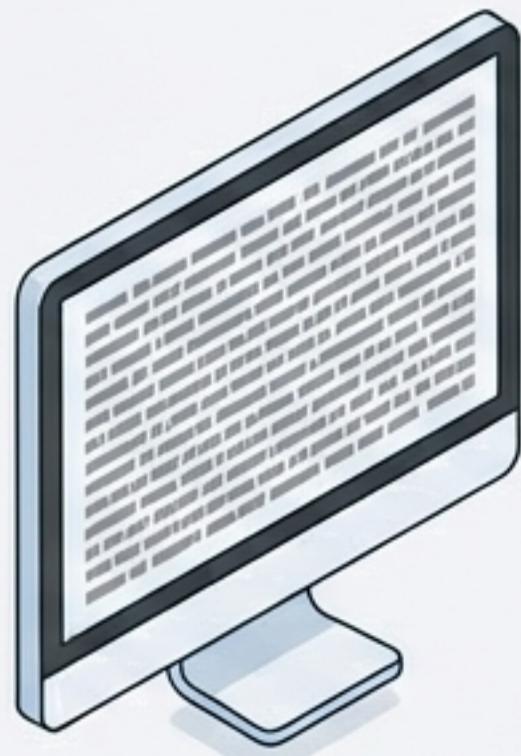
### 限界突破 (Limit Break)

Gemini単体の「10ファイル制限」を撤廃。NotebookLMを経由することで、数百のファイルを一度に処理する。



# Merit 1: 「テキストの壁」を「プロの成果物」へ

**NotebookLM**  
(Analysis)

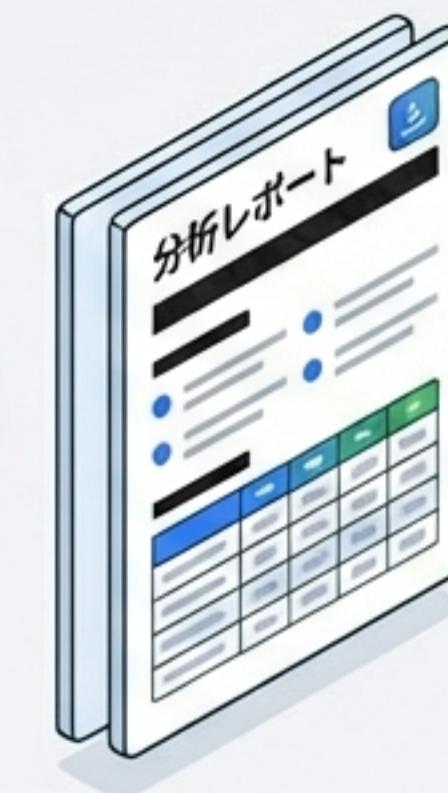


Logic  
Handoff

**Gemini**  
(Designer)



**Canvas Output**

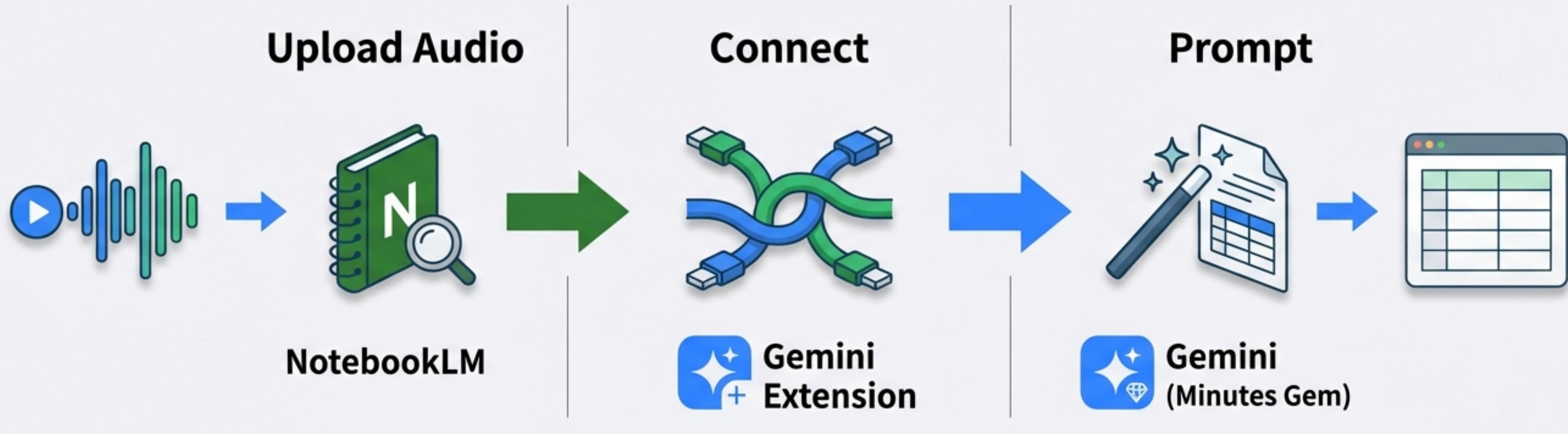


論理は完璧だが、見た目は  
「ただの文字の羅列」。  
そのままでは共有できない。

分析結果を、即座に共有  
可能なHTML/PDF形式の  
ドキュメントに整形。

# Use Case: 究極の議事録作成フロー

「文字起こしガチャ」を回避する最適解



※Geminiに直接アップロードしないこと  
(精度が不安定なため)。NotebookLM  
で安定した文字起こしを行う。

Geminiのチャット画面から、文字  
起こし済みのNotebookLMをソー  
スとして呼び出す。

「この会議の決定事項を表形式で、  
Canvasにまとめて」と指示。

# Canvasの魔法：閲覧用ドキュメントの自動生成

◀ Before & After ▶

## Standard Output (Chat)

本日の会議では、Aプロジェクトの進捗について議論されました。まず、UI改修の件は佐藤さんが担当し、対応中との報告がありました。サーバー移行は鈴木さんが担当し、無事完了しました。次に、今後のネクストアクションとして、B社への提案書の作成、来週のプレゼン資料の準備、そしてバグ修正の優先順位付けが挙げられました。これらについて、それぞれ担当者を決定し、期限を設定しました。また、次回の会議は来週の水曜日に予定されています。会議の最後には、質疑応答の時間も設けられ、活発な議論が行われました。全体的に、プロジェクトは順調に進んでいることが確認されましたが、いくつかの課題も明らかになり、引き続き注視していく必要があります。

編集・PDF化が  
即座に可能

## Gemini Canvas Output

### 定例進捗会議 議事録

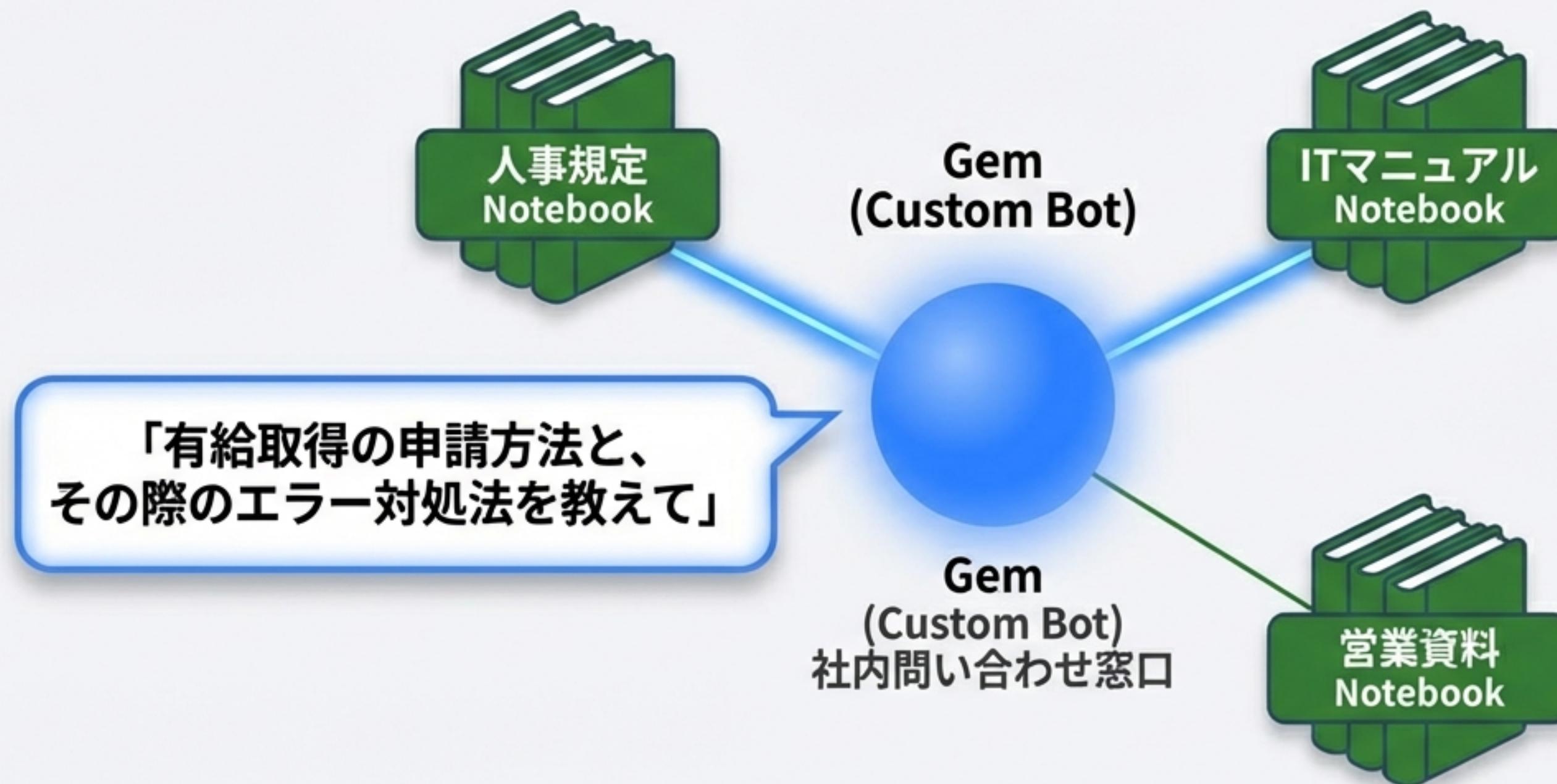
#### 決定事項 (Decisions)

1	UI改修	担当：佐藤	対応中 ✓
2	サーバー移行	担当：鈴木	完了 ✓

#### ネクストアクション

- B社への提案書作成 (担当: 田中, 期限: 5/20)
- 来週のプレゼン資料準備 (担当: 山田, 期限: 5/18)
- バグ修正の優先順位付け (担当: 佐藤/鈴木, 期限: 5/17)

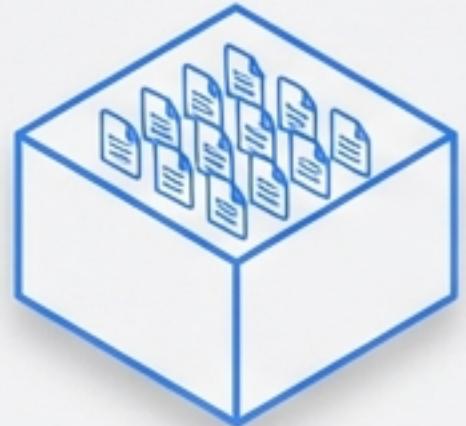
## Merit 2: 社内ナレッジの「コンシェルジュ化」



ユーザーは情報のありか（どのノートブックか？）を気にする必要がない。  
Geminiが横断的に検索し、回答を生成する。

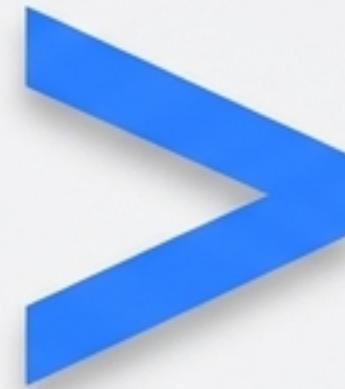
# Merit 3: コンテキストウィンドウの限界突破

**Gemini Standard**  
(直接アップロード)

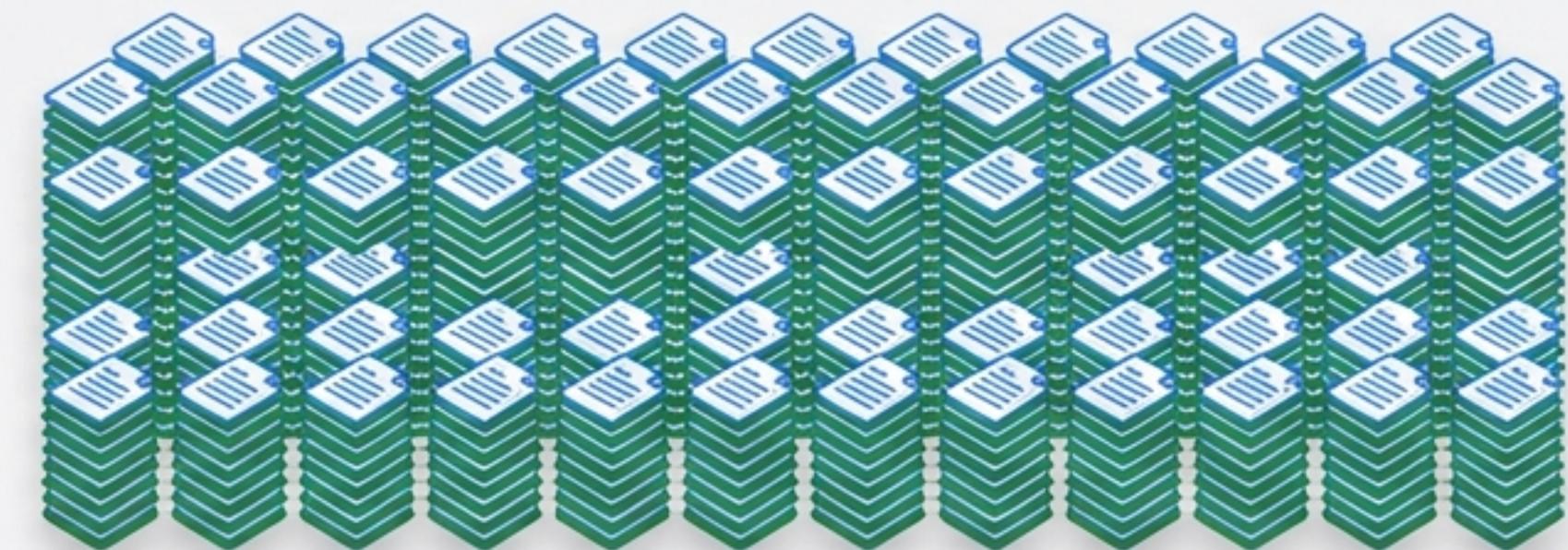


**10 Files**

Gemini直接アップロード上限



**Integration Power (NotebookLM経由)**



**500 Files+**

NotebookLM経由の参照能力

---

Geminiに接続できるNotebookは最大10冊。しかし、各Notebookには最大50ソース（Ultraならそれ以上）が格納可能。

$$10 \text{ Notebooks} \times 50 \text{ Sources} = 500 \text{ Files}$$

過去数年分のプロジェクトレポートや、膨大な論文データを一度にコンテキストに乗せることが可能に。

# CAUTION: 創造性と正確性のトレードオフ !

	Behavior	Description	Risk Level
NotebookLM (Standalone)	ソース至上主義 (Source Only)	ソースにない情報は「分かりません」と答える。	 Low (Hallucination is rare)
Gemini (Integrated)	創造的補完 (Creative Filling)	Notebookを「参考」にするが、隙間を外部知識や推論で埋めようとする。	 Medium (Possibility of Hallucination)

 「契約書の罰則条項」など、100%の正確性が求められる場面では、Geminiが良かれと思って付け加える「外部情報」がリスクになる。

# 統合モデルを制御するプロンプトの鉄則

「添付されたNotebookの情報のみを使用して回答してください。  
外部知識は一切使用しないでください。」



## NotebookLM（単体）を使うべき時

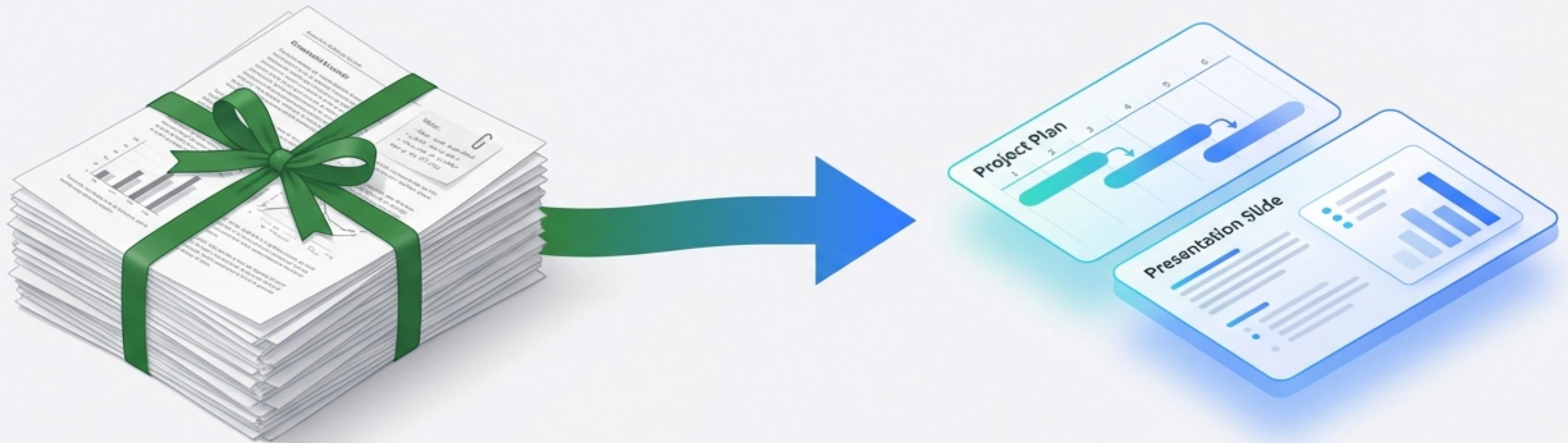
- ・厳密なファクトチェック
- ・ソースの深読み
- ・引用元の明記が必要な時



## 統合機能（Integration）を使うべき時

- ・ドキュメント・スライドの作成
- ・データに基づくブレインストーミング
- ・複数ソースの横断的な要約

# 「データと会話する」時代から、「データで創造する」時代へ。



Geminiの「創造性」とNotebookLMの「知識」の融合は、単なる効率化ではありません。あなたのビジネスワークフローを、受動的な検索から能動的な~~な~~な生産へと変革します。

今すぐ、あなたの手元の「サイロ化した知識」をGeminiに接続し、新しい価値を生み出してください。